

■業務概要

研究部門では、重点領域である中枢、免疫、がん、腎循環に加え、眼科・皮膚科あるいは感染症領域などの疾患の新規治療薬創出のため、創薬標的の探索、スクリーニングのための評価系の構築、スクリーニングの実施、モデルでの薬効評価により、治療薬候補の創出を行います。

薬理実験サポートの業務としては、研究員と共に、実験動物（主にラット、マウス）を用いたin vivo薬理試験や、細胞等を用いたin vitro試験を担当いただきます。まずin vivo試験においては、化合物（主に紛体）を溶液などに調製、動物に投与して、行動、生理学、生化学および遺伝学的な変化を、主に専用の機器を用いて測定します。また、in vitro薬理試験では、哺乳類細胞を用いて標的分子を発現した細胞を作製したり、動物・ヒト細胞やiPS細胞から標的となる分化細胞を作製するなどして、候補化合物などによる薬理学的評価や形態学、生化学および遺伝学的変化を、測定試薬（キット）、機器により測定します。

上記の薬理学的実験や分子生物学的実験については、入社後に全て技術指導しますので、実験動物・培養細胞を初めて触る方でも大丈夫です。

■大切にしている思い

創薬の原点は「ものまねをせず、世界に通じるものを創る」と考えています。顕在化しているものの満たされていないニーズが存在する領域において、新しい治療価値を創造し、革新的な新薬を開発することを目指しています。

■求めている人物像

- In vitroや動物実験に興味のある方
- PC、解析ソフトなどを使用して作表・作図ができる方
- 継続的に仕事ができる、高い技術習得を望む方
- 何度失敗してもくじけず、創意工夫で障害を越えていける方